



## 県普協・ひろしま「牛乳の日」 県庁から県民の皆さんへ 「牛乳を飲もう」



(中下副知事(正面右側)を囲み、牛乳の良さをPRする普及協会関係者ら)

広島県牛乳普及協会(山本武会長)は、牛乳月間にあたって、県産牛乳と乳製品の美味しさをPRするため、消費拡大キャンペーンとして、会員ら11名で県庁を訪れ、中下善昭副知事と中本隆志副県議会議員に牛乳・乳製品を贈呈し、表敬訪問を行った。県内のテレビ局や新聞各社の記者らが集まり、同日夕方のニュースや翌朝の新聞等で多くの県民の目に触れ、PRすることが出来た。

訪問したのは、山本武会長の他、後藤一昭副会長(東洋乳業(株)代表取締役



社長)、中田貴顕副会長(販売店経営)、山延眞智子委員長、山延伊久江さん(ひろらく女性グループ連絡協議会)、井上正芳委員長(広酪メンバーズクラブ)、酪農後継者として、和田慎吾さん(庄原市東城町)、砂子拓也さん(山県郡北広島町)、隅屋寒三事務局長(普及協会)、西中晃参事(広酪)、河内山洋主任(広酪事務局)。

中下副知事は、コップに注がれた牛乳を一気に飲み干し、酪農の現状を聞かれると共に「酪農業への関心も高い。今後において酪農現場にも行ってみたい」と関心を寄せられた。



中本副議長は学校給食でも供給される200mlブリック牛乳でPR。



県議会事務室では、中本隆志副議長と共に児玉浩議員にも同席頂き、酪農業への理解を深めて頂いた。



(記者からは酪農経営の現状に関心が寄せられ、そのインタビューに応える和田慎吾さん《左端》)